

特集 木育で木と人をつなげる



盤所 杏子さん
聡介ちゃん

池田 明美さん
昊生ちゃん

飛騨市の木育を広める会



飛騨市の木育を広める会
平成28年3月に岐阜県と市が共同実施した「木のおもちゃ博」を受けて、市民主導で継続・発展していきたいと設立されました。
豊かな森林を有する市で、森や木に携わる人（伐採者、加工者、インタープリターなど）を木育という共通目標でつなぎ、市の広葉樹の有効活用と、産業活性化を目指しています。また、「木育＝木のおもちゃ」というイメージにとらわれず、広い視点で子どもから大人まで木や森に対する理解を深めることを目指しています。
現在は会員4人で「おもちゃ広場」と「ワークショップ」の二つを軸として市内各地で活動しています。

「ワークショップ」

- ・親子で木工体験や製材所見学などを行い、木材について学ぶ
- ・市内の職人や企業とコラボして実施することで、木と人をつなげていく



「木のおもちゃ広場」

- ・小さな子どもを対象に、木のおもちゃで遊ぶことによって、木に触れ、温もりなどを知ってもらう
- ・市内の子育て支援センターなどで、これまでに8回実施





2004年に北海道で生まれた「木育」。飛騨市の木育をリードし、まちづくりのツールとして活用する「飛騨市の木育を広める会」は、国や県が示す木育の定義にとらわれず、市独自の木育を作ることを目指し、活動しています。会長の池田さんと副会長の盤所さんに、設立から現在、そしてこれからのついて聞きました。

木や森と人をつなげたい

― 昨年度の「木のおもちゃ博・木育キャラバン」が設立のきっかけだと伺いました。

池田 大工さんや木工職人さん、保育士さんなど木や子育てに携わる方がスタッフとして多く参加されていて、事前の研修や準備を通して刺激を受けるとともに、こうやって力を合わせれば大きなことが実現できると感じました。この繋がりを継続していきたいと思い、同じくスタッフとして参加していた盤所さんに相談したのが始まりです。

― その話を聞いた時はどうでしたか。

盤所 私の地元である北海道で、その町で生まれた子どもにも「ここが君の居場所だよ」というメッセージを込めて木の椅子をプレゼントする「君の椅子プロジェクト」という取り組みがあります。木に囲まれた飛騨に嫁いでくる際に、この土地の子どもにも同じメッセージを届けられる取り組みができないかと思っていたので、池田さんの熱い想いにとても共感しました。

― 設立から現在までを振り返ると。

池田 いろんな方の協力や支え



があつてこそこの「今」だと感じています。おもちゃ広場では、何度も来てくださる方や高山からの参加者もみえ、少しずつ浸透している実感もあります。

盤所 地元の方の「ずっと飛騨におるけど知らなかった」「子どもにとつてすごく良い活動」と言っていただけなのがやりがいにつながっています。また、私自身この活動を通していろんな方と関わり、新しい発見や人の縁に喜びを感じています。

― 課題や反省点は。

池田 活動を通して「飛騨市ならではの木育とは？」を模索する半年でした。今後はそれを明確にし、発信していけたらと思います。そして、活動を活発にしていくためには一緒に歩んでくれる仲間が必要です。「木が好き」「何かやってみよう」と思っている方を形にしたい方とともに、私たちもより学びを深めていく必要があると感じています。

す。

盤所 とにかく「やってみよう！」と突っ走って来た期間でしたね(笑)。ですので、反省点というよりは、今後活動を安定的に継続させ、進化させていくために一度これまでの活動を振り返り、再度ビジョンや方向性をメンバーで一致させていくことが必要だと思っています。

― 飛騨市独自の木育が目指すところは。

池田 森とともに暮らす歴史が残っていることを感じました。そういった飛騨市ならではの特徴を宝として見つめ直してもらえる機会を設け、ライフスタイルの中に森を取り入れて共生していくことを目指したいです。

盤所 「豊かな自然(森や木)・木を活かす職人・森を語れる案内人」このように幅広い視点で体験や学びを実現できるのが、飛騨市の木育の強みです。ゆりかごから墓場まで、ではないですが一生の中で自然に生活の中に入れていくような木育が理想ですね。



― 今後の目標は。

池田 私たちは結婚を機にこの地に住むようになり、飛騨市には良い物が沢山あることを実感しました。その一つである木や森を通じた「木育」という活動を継続していきたいと思えます。飛騨市の木である「ブナ」に焦点を当てたワークショップや、実際に森へ出かけて豊かさや大切さを互換で感じてもらうお散歩会も企画していきたいです。

盤所 私は小さい頃から引越しが多く、よそから来た人間だからこそ、その土地の良いところを見つけれられると実感しました。また、7月に出産し、子育てを通して「自分の地元を語れる大人に育てたい」という想いが更に強まりました。「飛騨市が誇れる」飛騨の職人の技・豊かな森林などを、木育の活動を通して親子で感じてもらえるきっかけになればと思っています。

